

KDDI株式会社

2013年3月期決算

2013年4月30日

代表取締役社長 田中 孝司

本日の説明内容

- 1. 2013年3月期の成果**
- 2. 新たなステージに向けて**
- 3. 2014年3月期の業績予想**
- 4. 株主還元**

この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績及び契約数は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

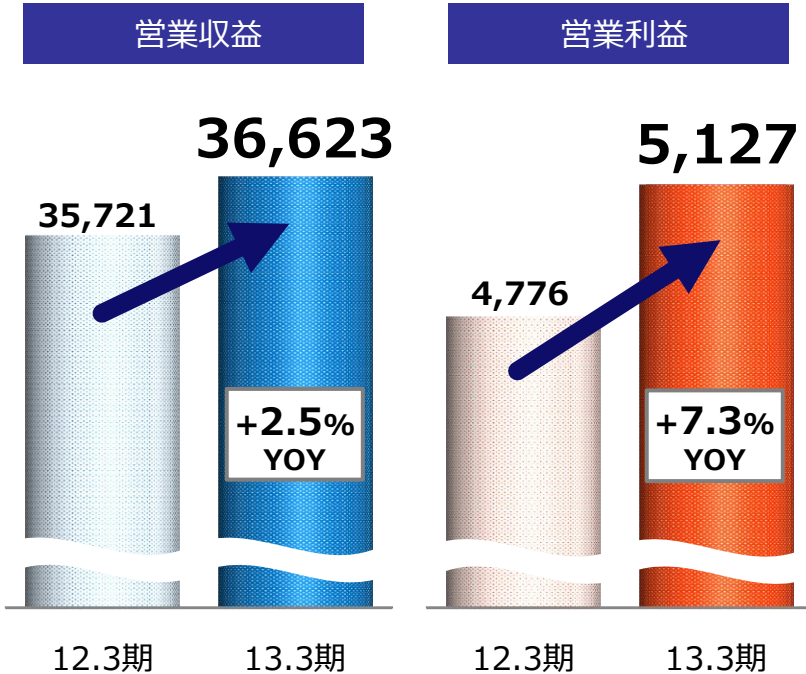
2013年3月期の成果

13.3期は“成長起点の年”

- 連結営業利益は5,127億円(前期比 +7.3%)
- au通信ARPUが月次ベースで底打ち
- 3M戦略による競争優位性を確立

增收增益

(単位:億円)



	12.3期	13.3期	前期比
営業収益	35,721	36,623	+2.5%
営業利益	4,776	5,127	+7.3%
マージン	13.4%	14.0%	-
経常利益	4,512	5,144	+14.0%
当期純利益	2,386	2,415	+1.2%
EBITDA	9,085	9,596	+5.6%
マージン	25.4%	26.2%	-
FCF	2,414	509	-

セグメント別業績

増収増益

(単位:億円)

	12.3期	13.3期	前期比
営業収益	27,996	28,380	+1.4%
営業利益	3,472	3,786	+9.0%
マージン	12.4%	13.3%	-
EBITDA	7,132	7,510	+5.3%
マージン	25.5%	26.5%	-

パーソナル

増収増益

(単位:億円)

	12.3期	13.3期	前期比
営業収益	6,360	6,383	+0.4%
営業利益	750	798	+6.4%
マージン	11.8%	12.5%	-
EBITDA	1,231	1,288	+4.6%
マージン	19.4%	20.2%	-

ビジネス

増収減益

(単位:億円)

	12.3期	13.3期	前期比
営業収益	1,364	1,419	+4.0%
営業利益	444	419	-5.7%
マージン	32.6%	29.5%	-
EBITDA	511	518	+1.4%
マージン	37.5%	36.5%	-

バリュー

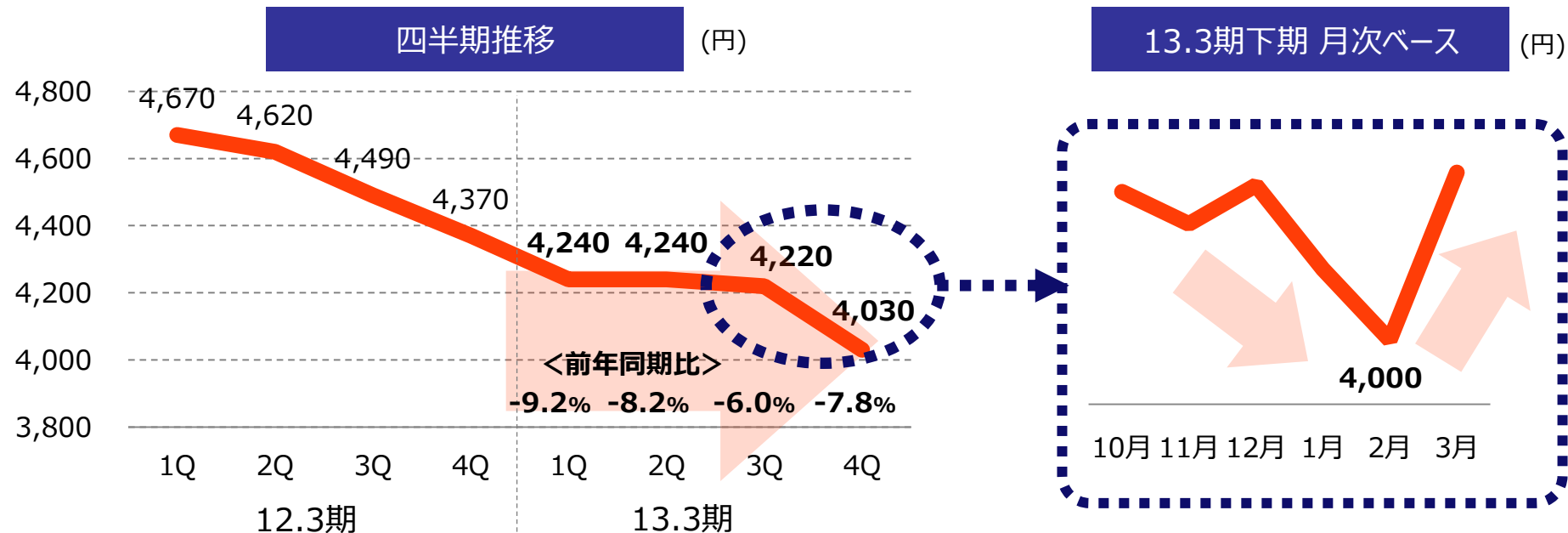
増収増益

(単位:億円)

	12.3期	13.3期	前期比
営業収益	1,716	2,073	+20.8%
営業利益	43	78	+83.4%
マージン	2.5%	3.8%	-
EBITDA	137	213	+55.3%
マージン	8.0%	10.3%	-

グローバル

2月に月次ベースでの底打ちを実現



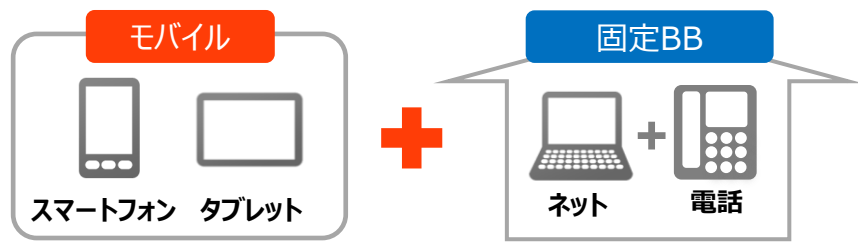
*12.3期4Q、13.3期4Qは事業者間の接続料精算による影響を含む。なお、13.3期月次ベースは、事業者間の接続料精算による影響を含まない。

3M戦略による 競争優位性を確立

auスマートバリュー

モバイル・固定共に期初予想を大幅に上回る

auスマートバリュー



auスマートフォン

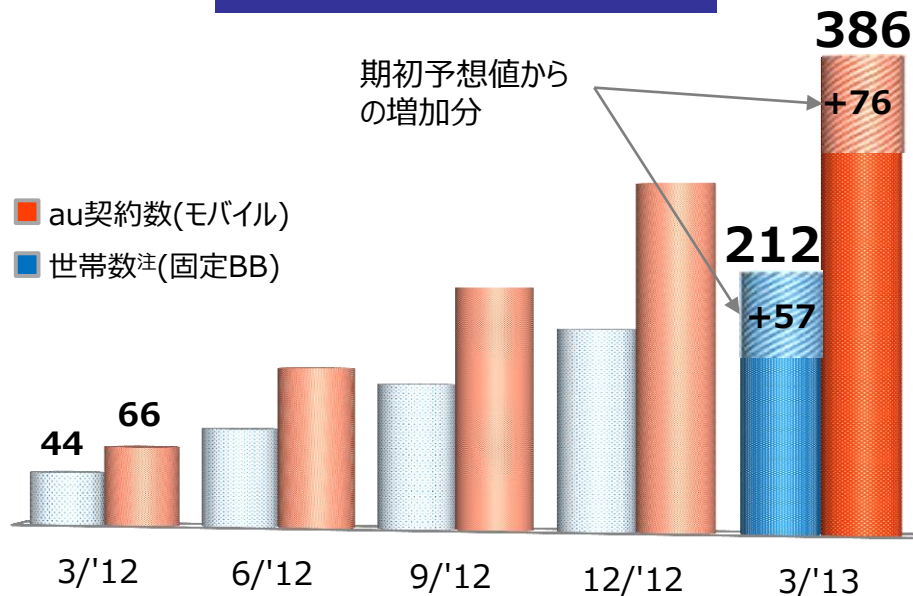
最大2年間
1,480円/月 off

固定BB1契約に対し

世帯内全てのau
スマートフォンが対象

四半期推移

(万)

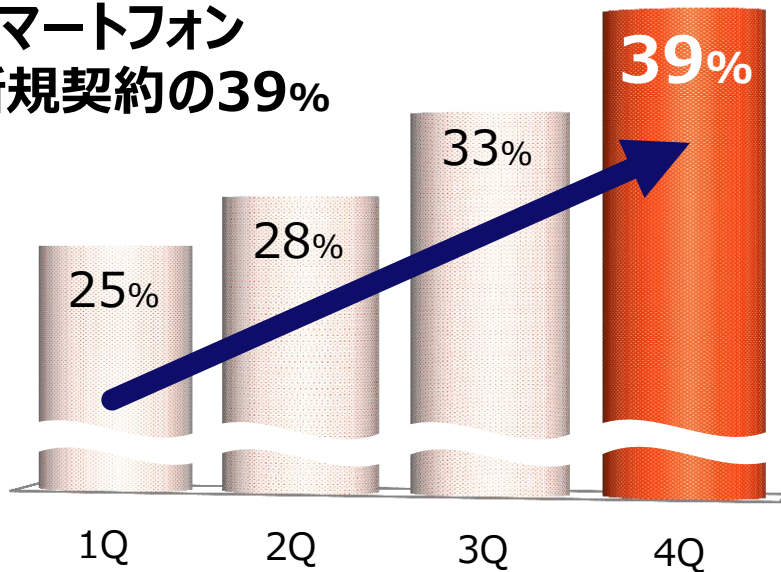


auスマートバリュー

新規契約への貢献が四半期毎に拡大

モバイル

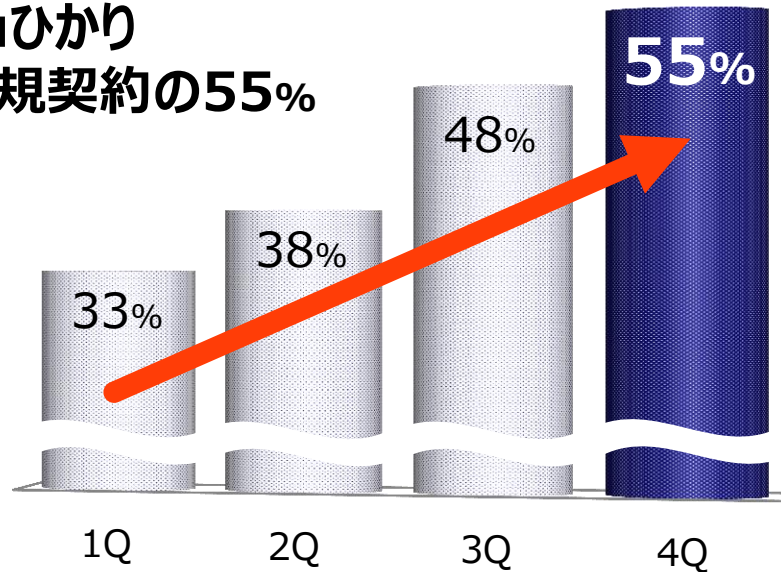
スマートフォン
新規契約の39%



対象:スマートフォンの新規契約(パ-ソナル)におけるauスマートバリュー契約の割合

FTTH

auひかり
新規契約の55%



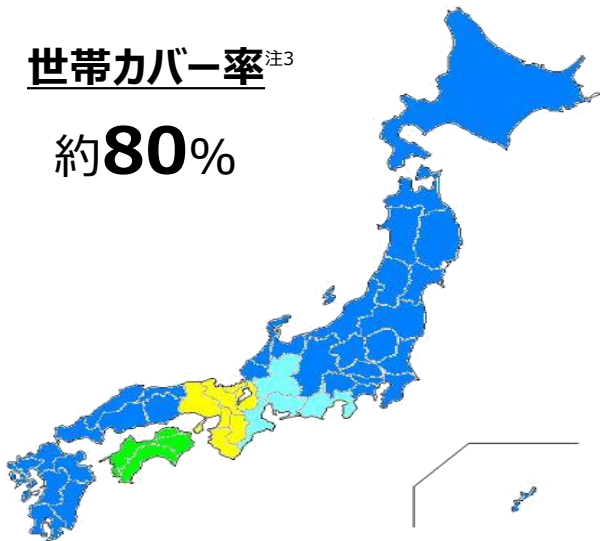
対象:auひかり新規契約(パ-ソナル)におけるauスマートバリュー契約の割合

auスマートバリュー

固定系提携事業者数が1年で“2倍”の規模に

世帯カバー率^{注3}

約**80%**



FTTH  auひかり auひかりちゆら  JOEY FIBER
 eo hikari  Pikara

CATV  JCN  J:COM 提携CATV会社

1年前

FTTH 4社
CATV41社
118局

現在

FTTH 5社^{注1}
CATV106社^{注2}
189局

さらに、エネルギー・コミュニケーションズ社と提携
CATV事業者とも提携を拡大

(2013年7月より順次拡大予定)

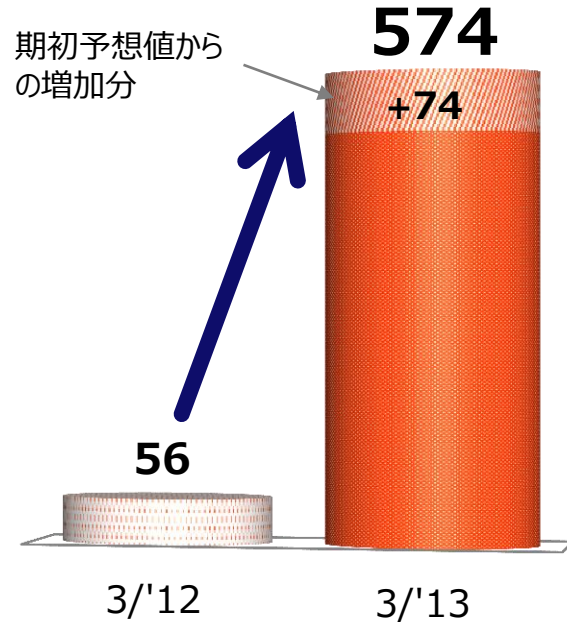
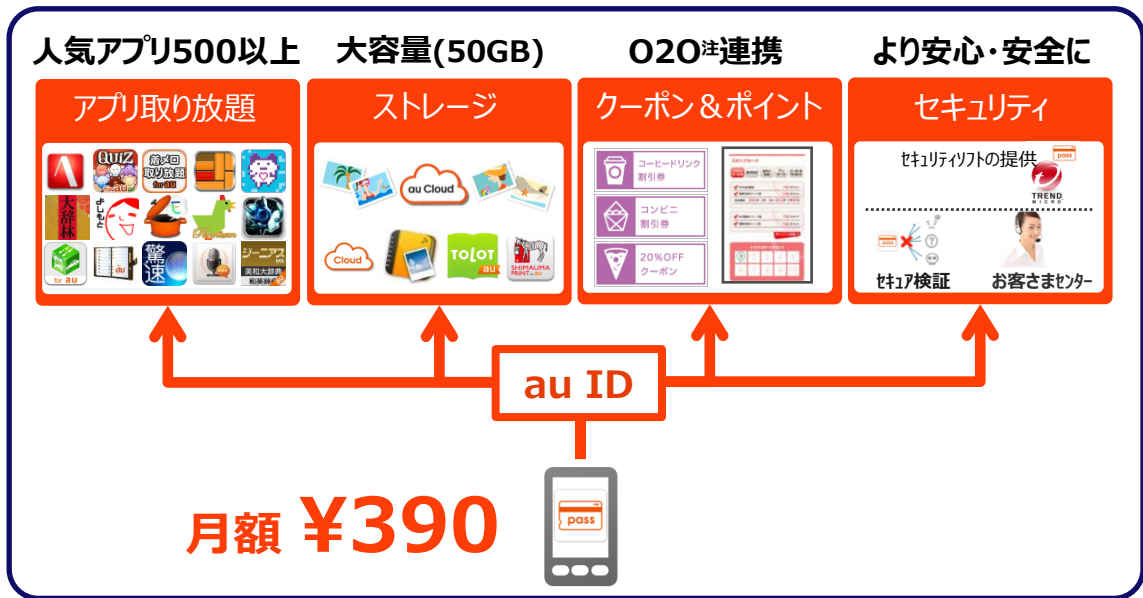
注1)FTTH5社には、KDDIグループ3社を含む。(四国はauひかり・Pikara双方でカバー) 注2)CATVの社数/局数には、STNetと提携している22社/22局を含む。
注3)世帯カバー率は、FTTH/CATVの戸建向け提供エリアにおける世帯カバー率

auスマートパス

スマートフォンの定番サービスに

～期初予想を大幅に上回る会員数～

会員数推移 (万)

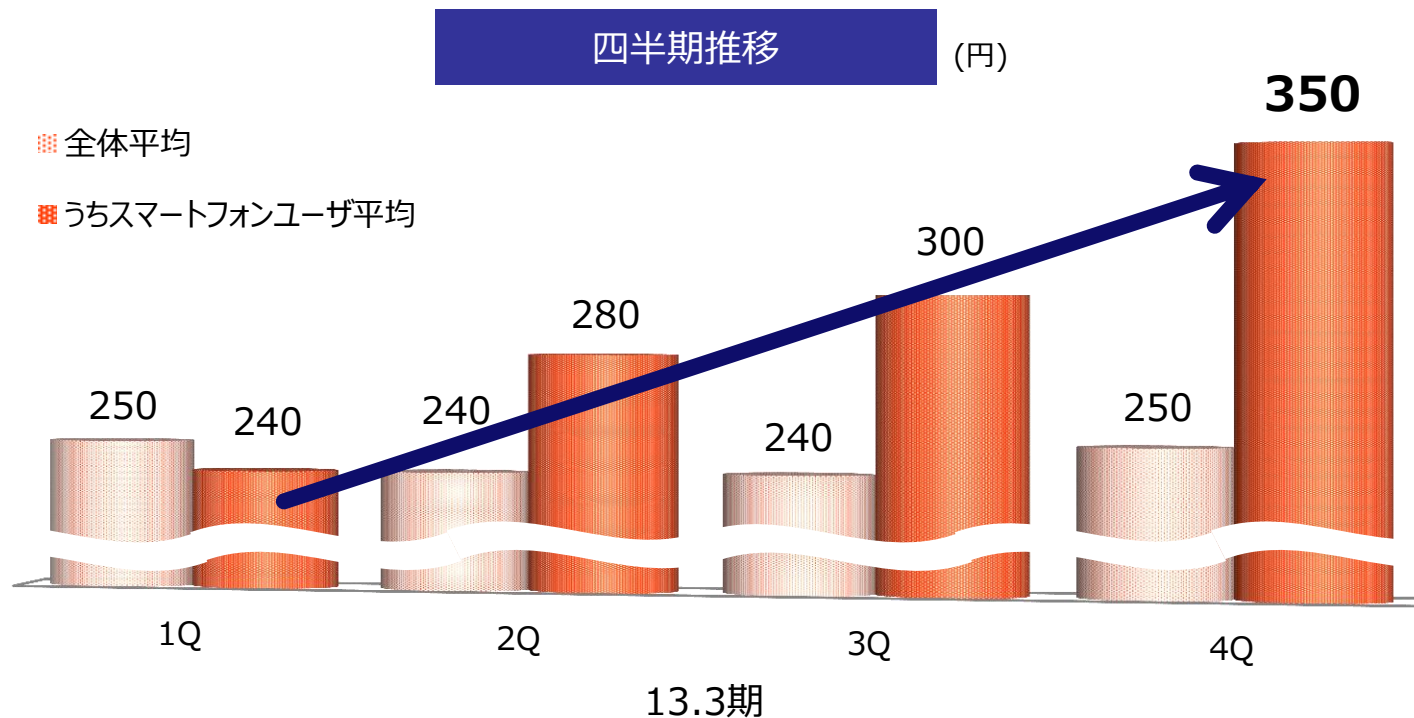


©2012 JustSystems Corporation ©Konami Digital Entertainment ©YAMAHA MUSIC MEDIA CORPORATION ©2009-2013 Kiragames. All Rights Reserved. Published by Quan Inc., ©BANDAI WIZ ©NBGI ©EAST Co., Ltd. 2009-2012 ©Sansendo Co., Ltd. 2012 ©YOSHIMOTO KOGYO/ ©G-mo de ©エキサイト株式会社 ©京都FM株式会社 ©毎日新聞社 ©Rayark Inc. ©NAVITIME JAPAN ©Jorte Inc ©SOURCENEXT CORPORATION ©EAST Co., Ltd. 2009-2012 © KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei and Taishukan, 2012 © MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012 © 2011-2013 TOLOT Inc. All Rights Reserved. 2013 © SHIMAUMA PRINT All Rights Reserved. *TRENDMICRO. およびウイルススターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

注)O2O(Online to Offline): インターネット上の情報によってネット利用者の実世界(地域や店舗等)での購買活動等を促す施策のこと

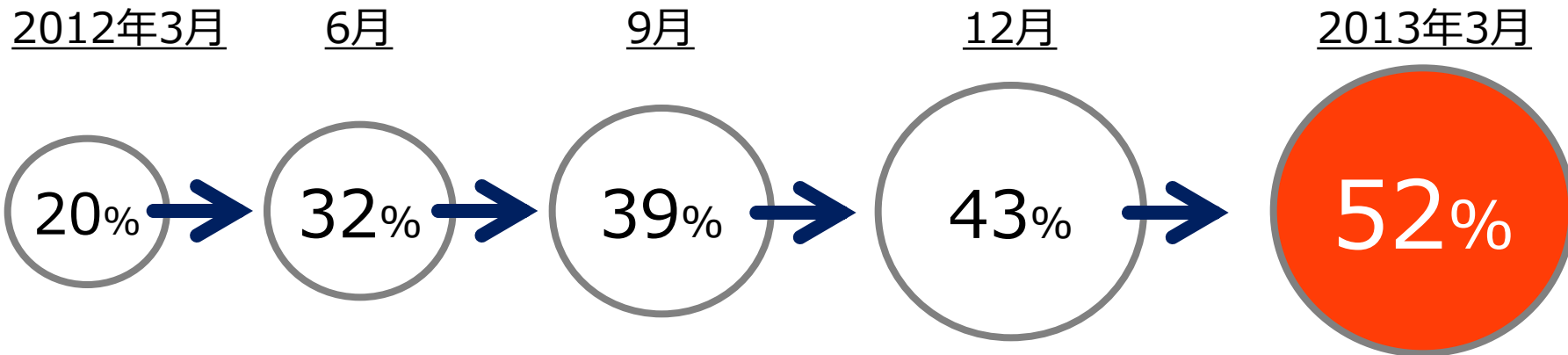
付加価値ARPU

スマートフォンが付加価値ARPU底上げに



データオフロード

期初目標の50%を達成



トラフィック最繁時間帯(23時台)における月間総データ量に対するデータオフロード

定義

分子: Wi-Fi+WiMAXへのデータオフロード

分母: スマートフォンのデータトラフィック総量(3G+Wi-Fi+WiMAX)

au 4G LTE

実人口カバー率^{注1}

13.3期末までに **96.4%**^{注2} 達成

さらに

14.3期末までに **99%**^{注2} へ

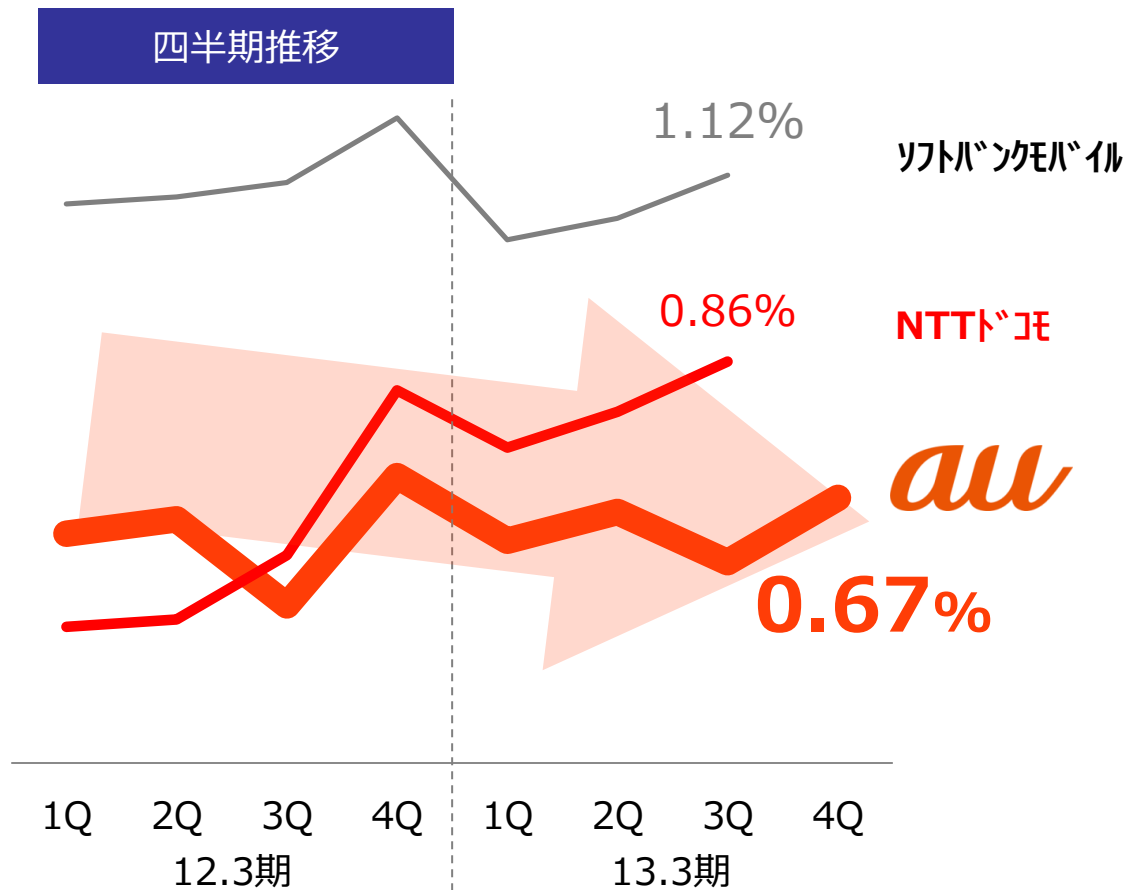


注1) 全国を500m四方に区分したメッシュのうち当社サービスエリアに該当するメッシュに含まれる人口の総人口に対する比率
注2) Android™搭載LTEスマートフォンが対象

モバイル&FTTHの モメンタム向上

au解約率

業界最低水準を
キープ



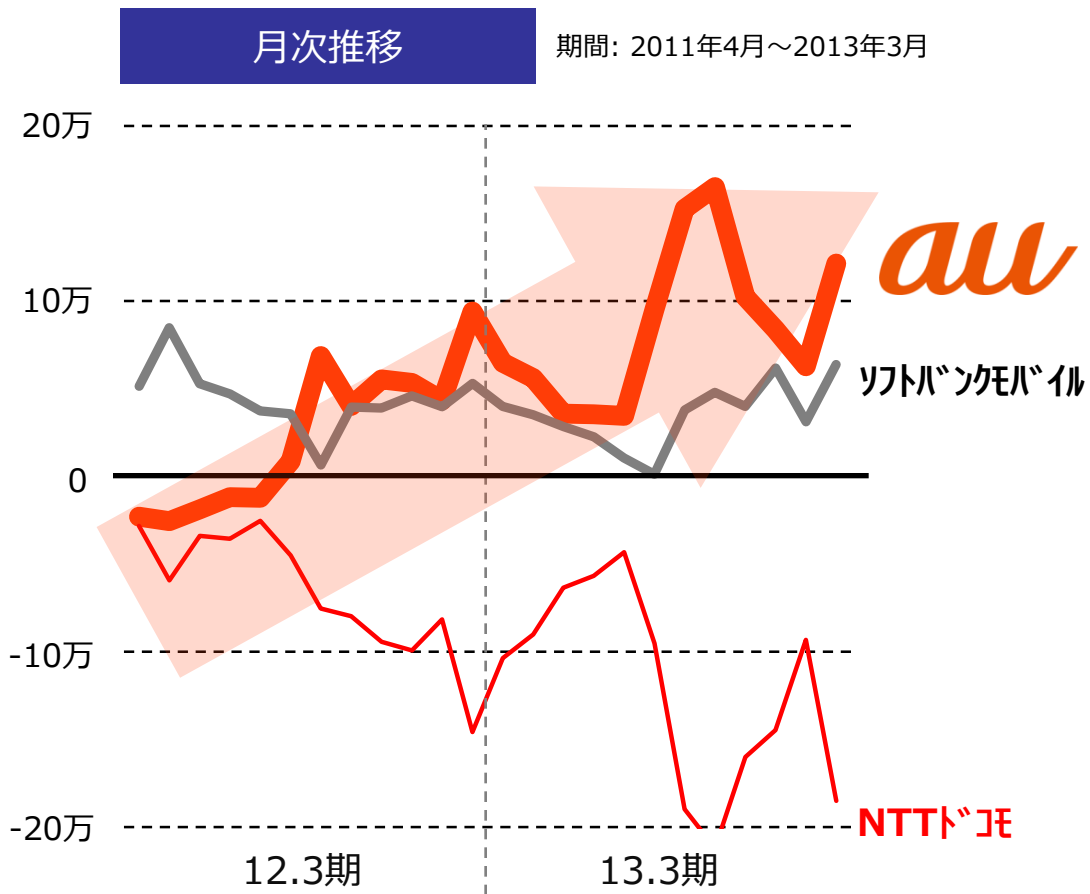
*au解約率はモバイル等を除くパーソナルサービス。各社決算資料等より作成

MNP純増

2011年10月から

18ヶ月連続 **No.1**

13.3期通期
過去最高の101万

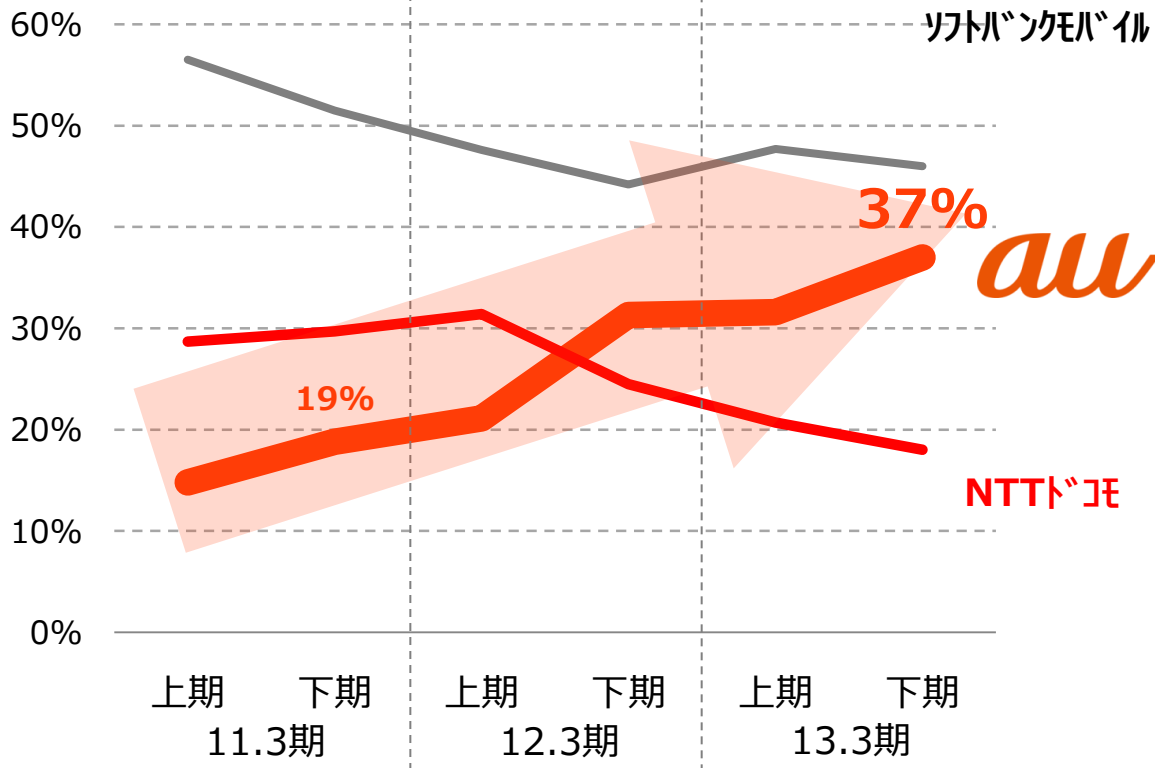


純増シェア

13.3期下期 **37%**

2年間で大きく上昇

半期推移



*NTTドコモ、ソフトバンクモバイル、当社による3社間の純増シェア

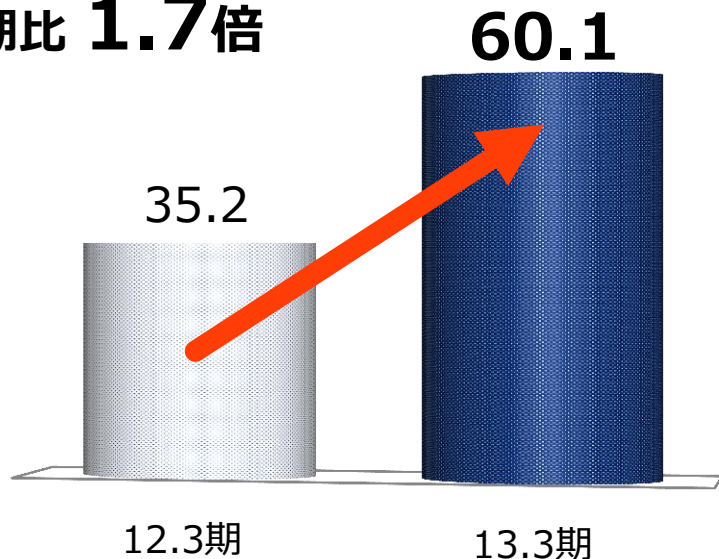
FTTHのモメンタム向上

大幅な純増と獲得コスト低減を両立

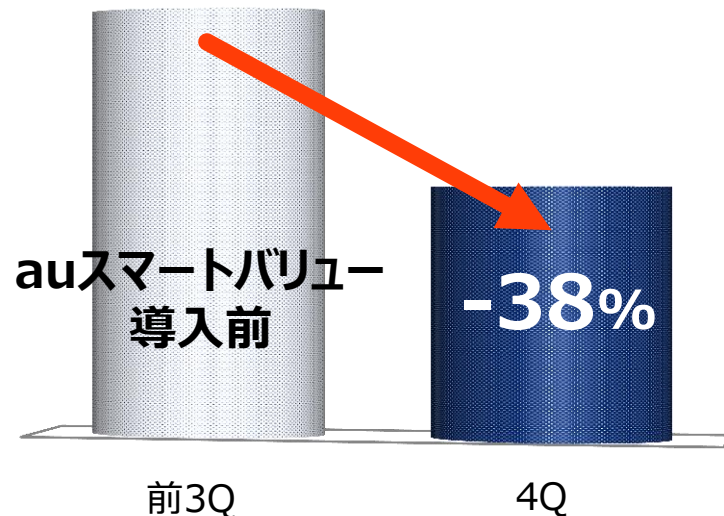
FTTH純増数

(万)

前期比 **1.7倍**




auひかりユーザ獲得単価比較



*FTTH純増数: KDDIグループのFTTH(auひかり, auひかりちゅら, コミュファ光)の純増数合計

新たなステージに向けて

次の3年に向けて



14.3期～
16.3期

“本格的な利益拡大へ”

～3M戦略の推進・深化
～グローバル戦略の推進

13.3期

“成長起点”

～3M戦略の本格展開

12.3期

“基盤事業の立て直し”

～auモメンタムの完全回復

基本方針

3M戦略の推進・深化

**通信料収入と
付加価値売上の拡大**

グローバル戦略の推進

**国内事業に加え
成長の柱へ**

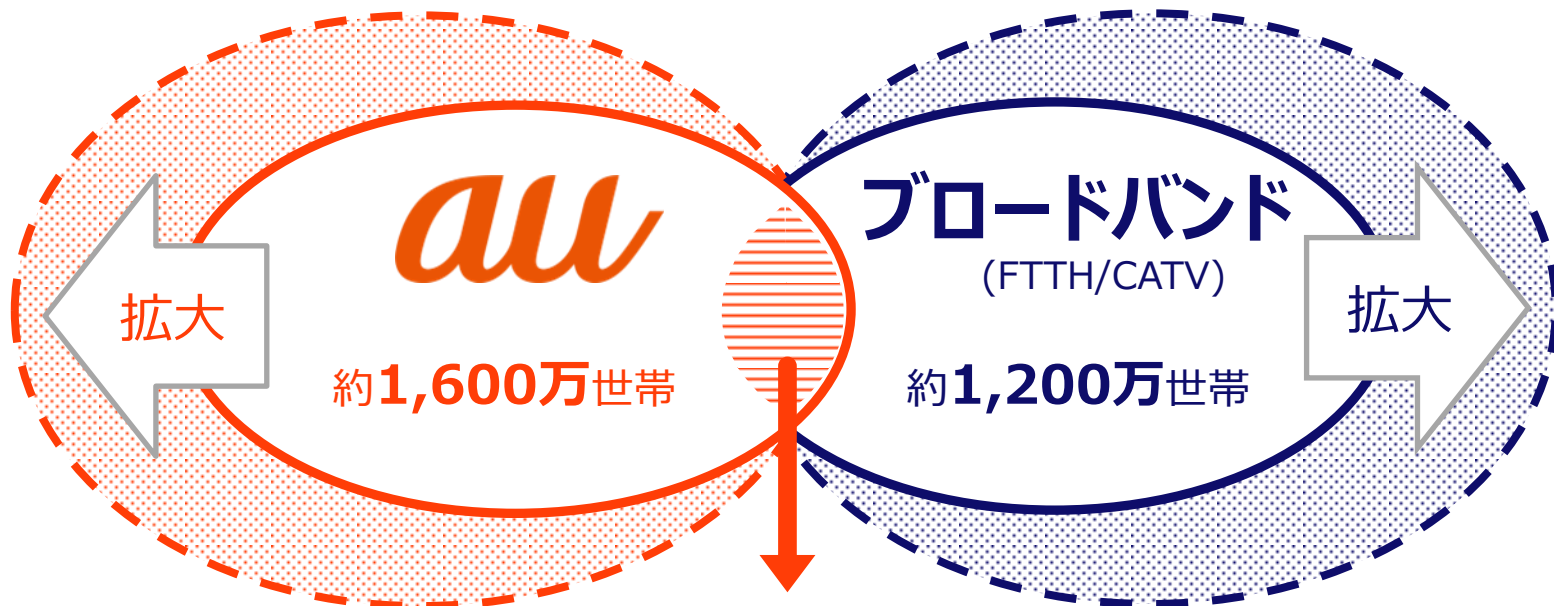
事業成長のさらなる追求

ビジネスモデル 収益の最大化



通信料収入の拡大

auスマートバリューの連鎖による顧客基盤拡大



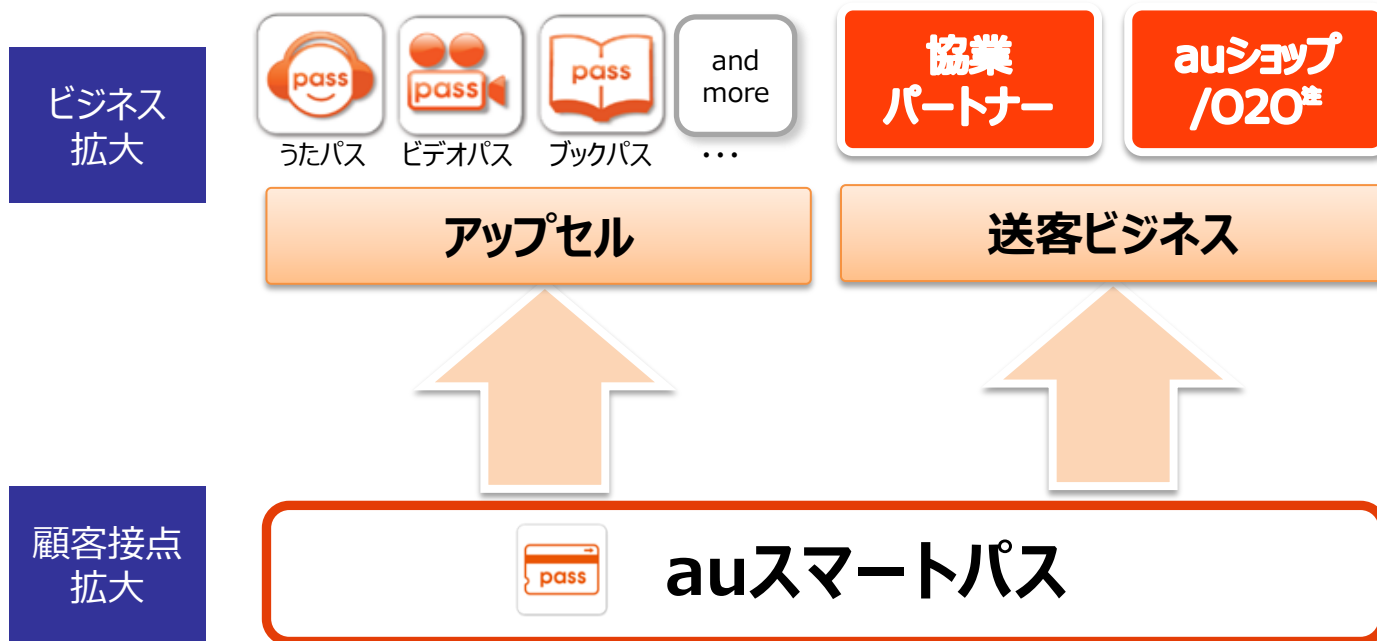
<auスマートバリュー契約>

13.3期 **212万世帯**

*2012年9月時点の世帯数をベースに算出

付加価値売上の拡大

auスマートパスを起点としたビジネスの拡大



注)O2O(Online to Offline): インターネット上の情報によってネット利用者の実世界(地域や店舗等)での購買活動を促す施策のこと

重要市場で段階的に推進 まずはアジアでグループの総力を結集

グローバル
ICT事業

グローバル
コンシューマ事業

クラウド/SI

ネットワーク

データセンター

新興国での新事業

MVNO



新たなステージにおける目標

“持続的な利益成長と株主還元の強化”

これまで

(11.3期から13.3期まで)

今後

(14.3期から16.3期まで)

利益成長

➤ 連結営業利益

年平均
4.23%成長



毎期成長率
2ケタ

➤ EPS^注

年平均
4.24%成長



利益成長に伴う大幅成長

株主還元

➤ 配当性向

25%～30%に
着実に引き上げる



配当性向
30%超

➤ 自己株式取得

経営の選択肢として検討

2014年3月期の 業績予想

2014年3月期業績予想のポイント

＜新たなステージの初年度として＞

“20%超の利益成長を目指す”

■ 営業利益・EBITDA・当期純利益は いずれも前期比20%超の増益

→J:COMは4月から連結化(1年分取り込み)

■ 通信料収入の増収が利益成長を牽引

→パーソナルセグメントの通信料収入が大幅に増収(+756億円)

→連結ベースのau純増数は230万を予想

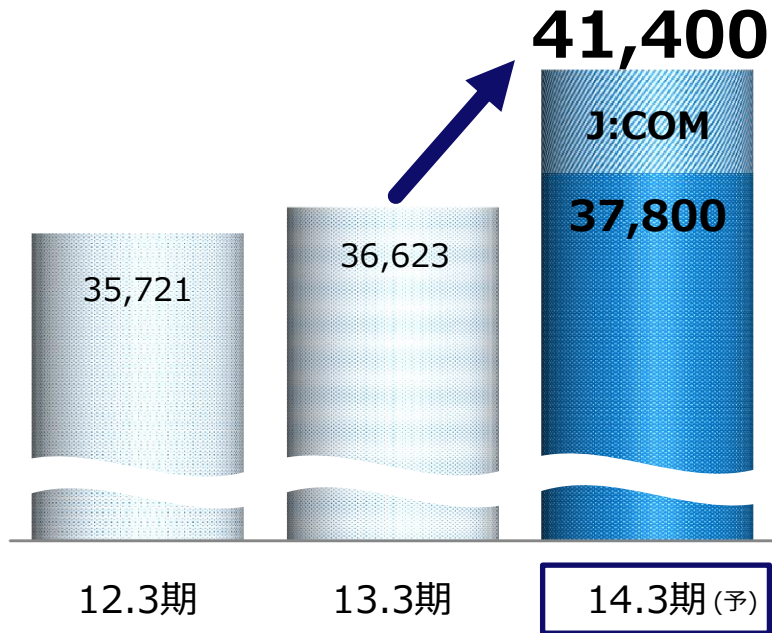
営業収益／営業利益

営業収益

(億円)

前期比 +13.0%

(J:COM除き +3.2%)

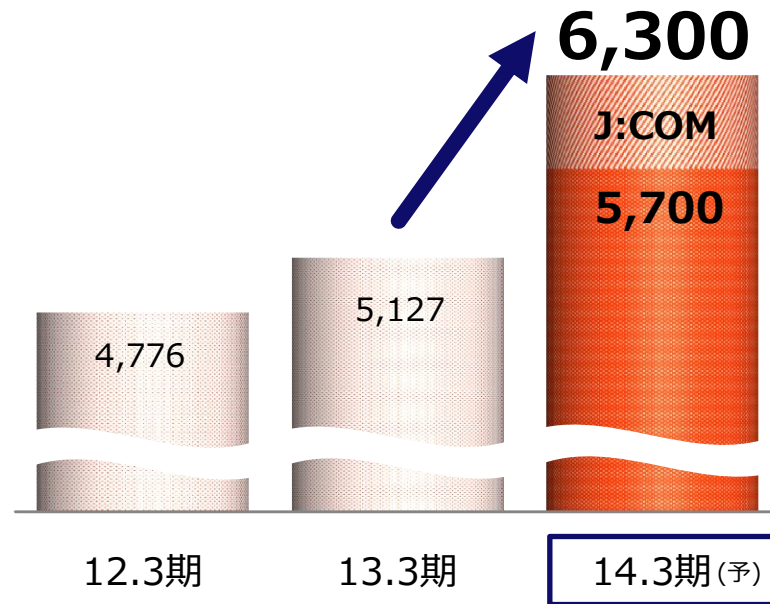


営業利益

(億円)

前期比 +22.9%

(J:COM除き +11.2%)



EBITDA / 当期純利益

EBITDA

(億円)

前期比 +20.9%

(J:COM除き +5.8%)

11,600

J:COM

10,150

9,596

9,085

12.3期

13.3期

14.3期(予)

当期純利益

(億円)

前期比 +22.2%

(J:COM除き +35.4%)

3,270

J:COM株の段階取得に係る損失等

2,950

2,415

2,386

12.3期

13.3期

14.3期(予)

(参考) J:COM連結化の影響^注

2014年3月期連結業績予想への反映

営業収益

3,600億円

設備投資

600億円

営業利益

600億円

フリーキャッシュフロー

900億円

当期純利益

-320億円

うち)14.3期の特殊要因
： 300億円

うち)J:COM株の段階取得に係る損失等
： -375億円

注)J:COM連結化による収支影響に加え、JCNとの統合影響(会計基準統一等)を含む。

セグメント別業績予想-1

(単位:億円)

パーソナル	J:COM連結前				J:COM連結後	
	13.3期	14.3期(予)	前期比	J:COM 連結影響	14.3期(予)	前期比
	営業収益	28,380	29,000	+2.2%	3,100	32,100
営業利益	3,786	4,300	+13.6%	550	4,850	+28.1%
マージン	13.3%	14.8%	-	17.7%	15.1%	-
EBITDA	7,510	8,010	+6.7%	1,390	9,400	+25.2%
マージン	26.5%	27.6%	-	44.8%	29.3%	-

(単位:億円)

バリュー	J:COM連結前				J:COM連結後	
	13.3期	14.3期(予)	前期比	J:COM 連結影響	14.3期(予)	前期比
	営業収益	1,419	1,600	+12.8%	500	2,100
営業利益	419	450	+7.4%	50	500	+19.4%
マージン	29.5%	28.1%	-	10.0%	23.8%	-
EBITDA	518	560	+8.1%	60	620	+19.7%
マージン	36.5%	35.0%	-	12.0%	29.5%	-

セグメント別業績予想-2

(単位:億円)

	13.3期	14.3期(予)	前期比
営業収益	6,383	6,500	+1.8%
営業利益	798	800	+0.2%
マージン	12.5%	12.3%	-
EBITDA	1,288	1,270	-1.4%
マージン	20.2%	19.5%	-

(単位:億円)

	13.3期	14.3期(予)	前期比
営業収益	2,073	2,180	+5.2%
営業利益	78	90	+14.9%
マージン	3.8%	4.1%	-
EBITDA	213	230	+8.0%
マージン	10.3%	10.6%	-

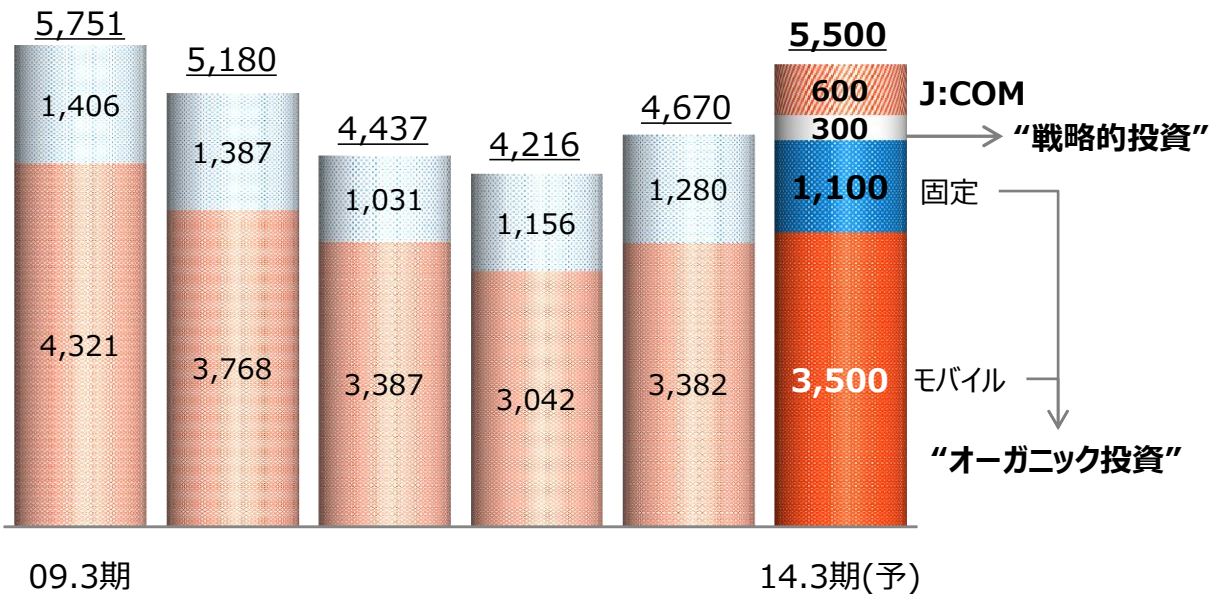
ビジネス

グローバル

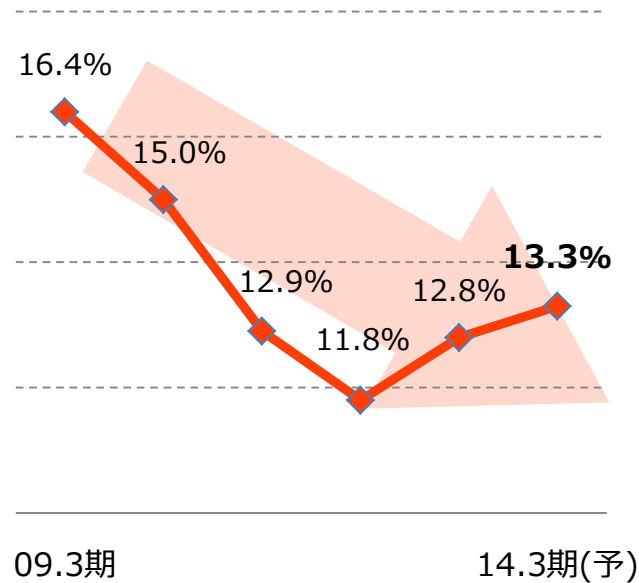
J:COM連結後、総額5,500億円水準を維持

設備投資

(億円)



売上高設備投資比率

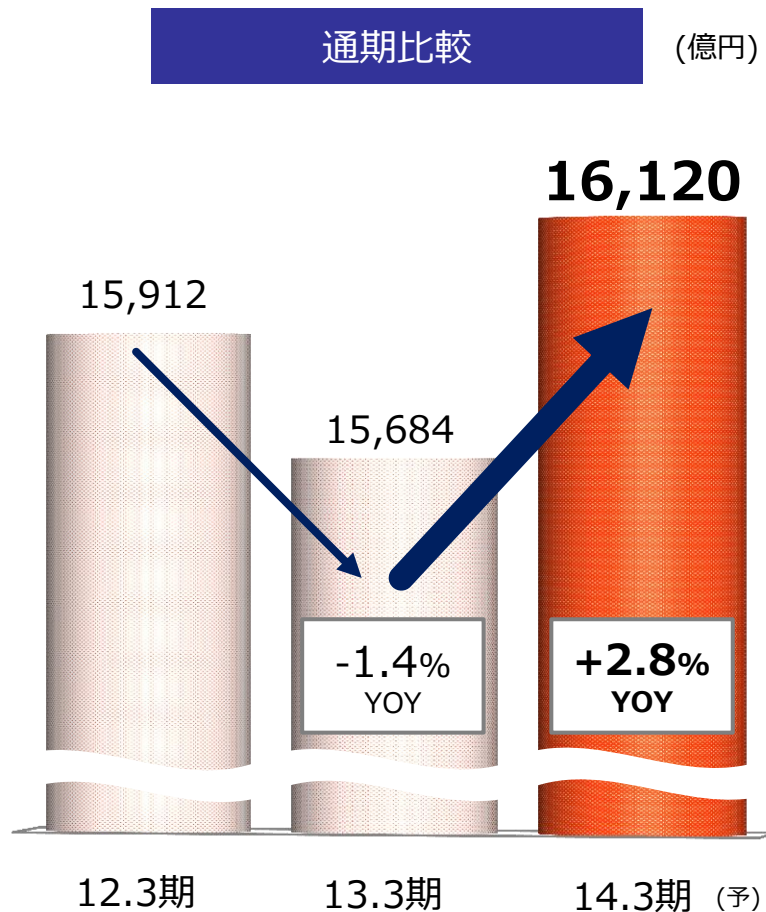


通信料収入の増収

モバイル通信料収入

5期ぶりに増収に転換

前期比 +436億円



固定通信料収入

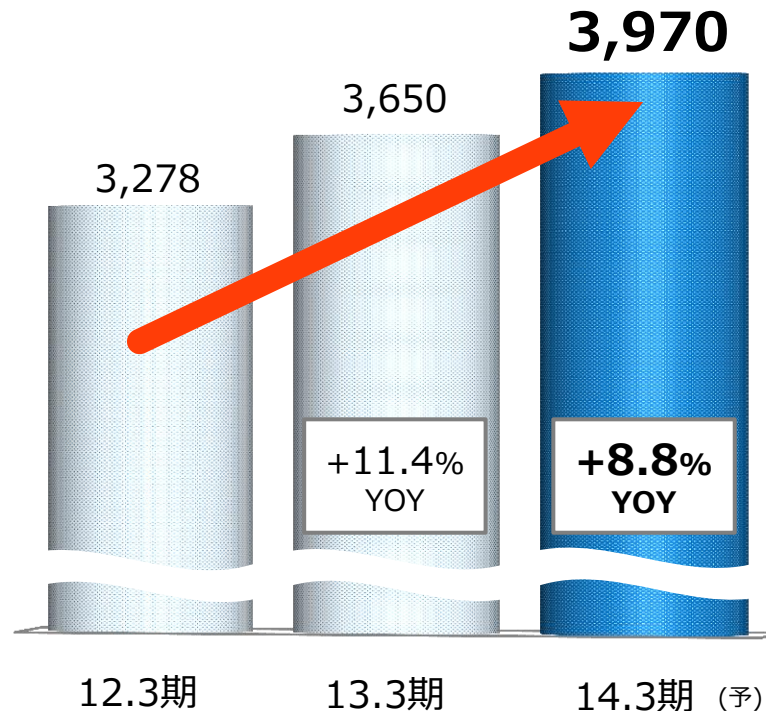
持続的な増収
フェーズへ

前期比 +320億円

通期比較

(億円)

*J:COM収入を含まない。



通信料収入合計

(モバイル+固定)

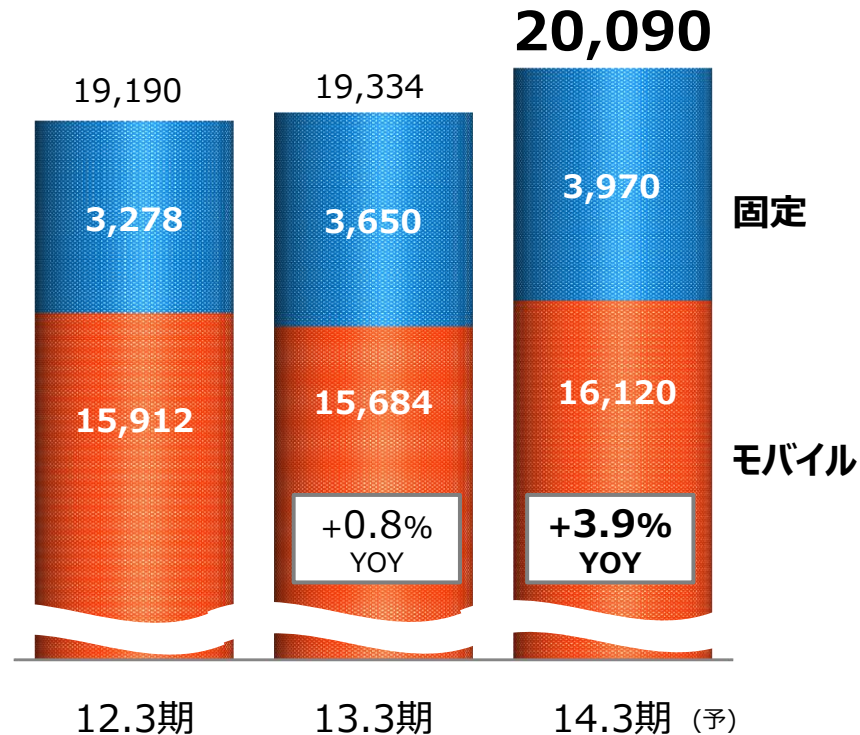
利益成長ドライバーに

前期比 +756億円

通期比較

(億円)

*J:COM収入を含まない。



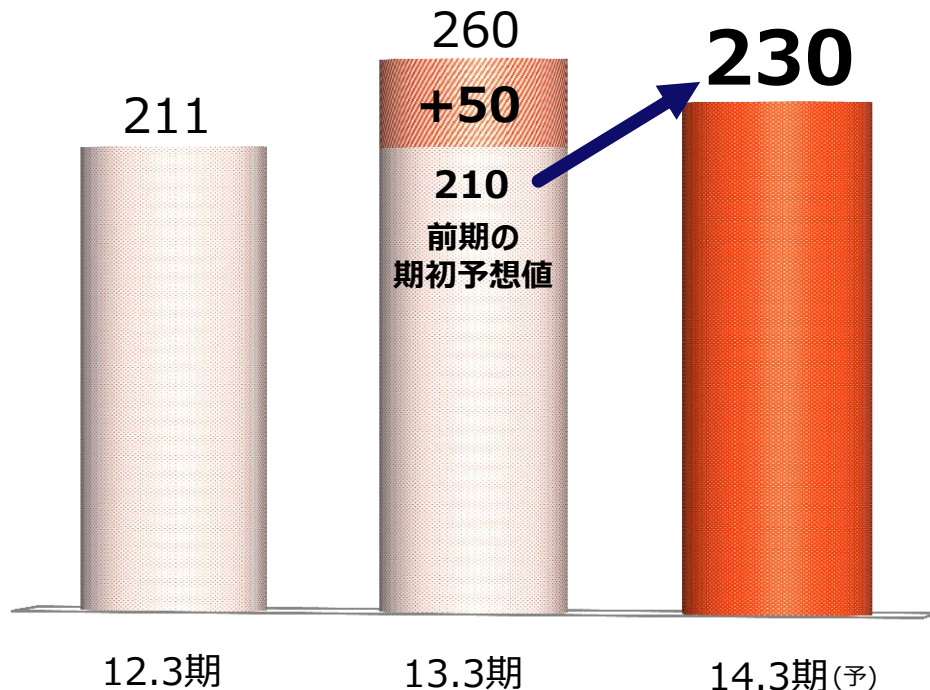
au純増数

前期の期初予想値を上回る
純増水準を目指す

期末での累計4,000万超

通期比較

(万)

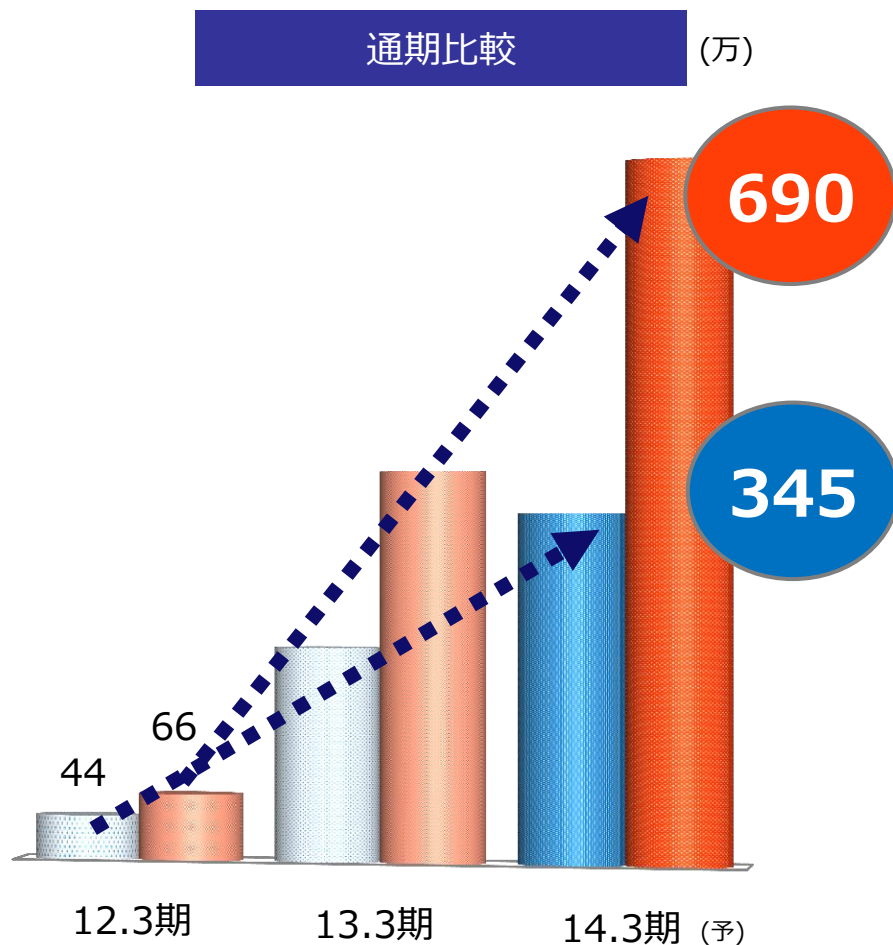


auスマートバリュー

モバイル・固定共に
さらなる拡大を目指す

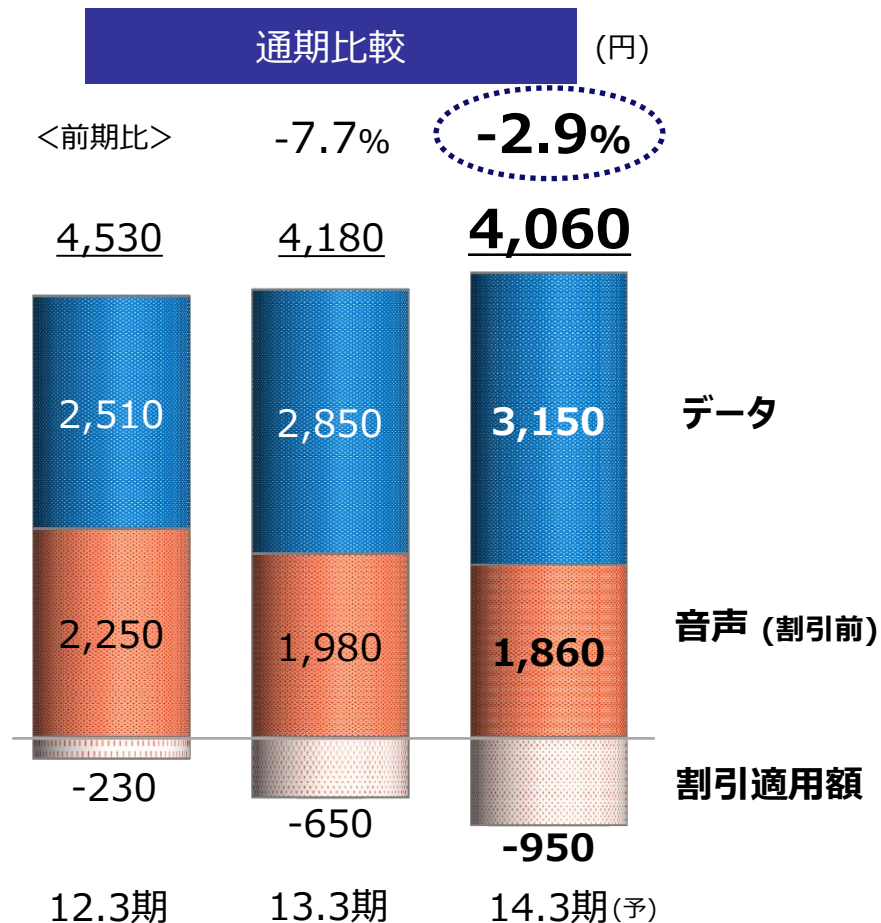
■ au契約数

■ 世帯数^注



au通信ARPU

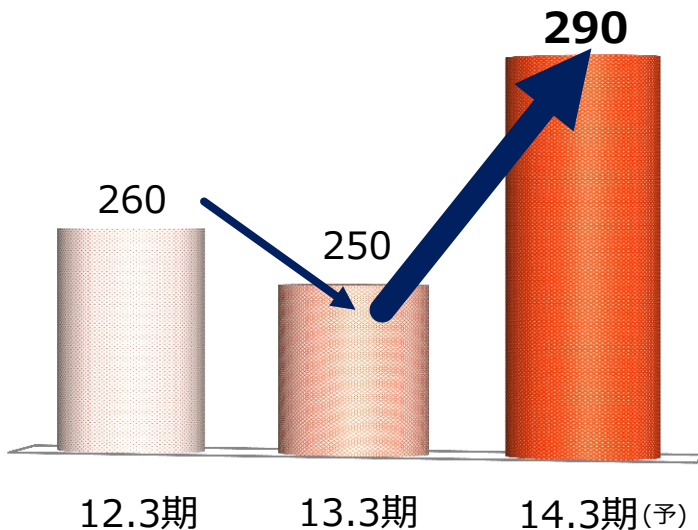
減少傾向が
大幅に改善



auスマートパス会員増をベースに16%伸長

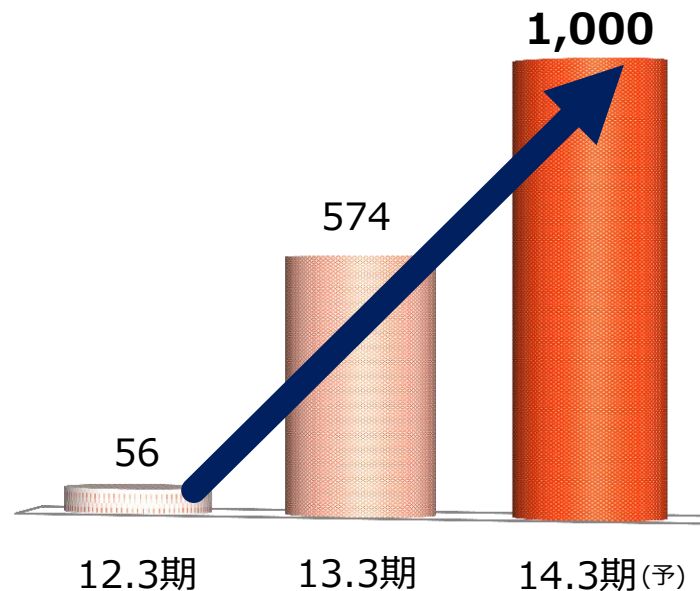
付加価値ARPU

(円)



auスマートパス会員数

(万)



株主還元

株主還元

	13.3期(予)	14.3期(予)	
配当 (1株当たり)	90円 ^{注1}	120円	1.33倍
配当性向	28.5%	31.1%	+2.6ポイント
配当利回り	2.4% ^{注2}	3.1% ^{注2}	+0.8ポイント

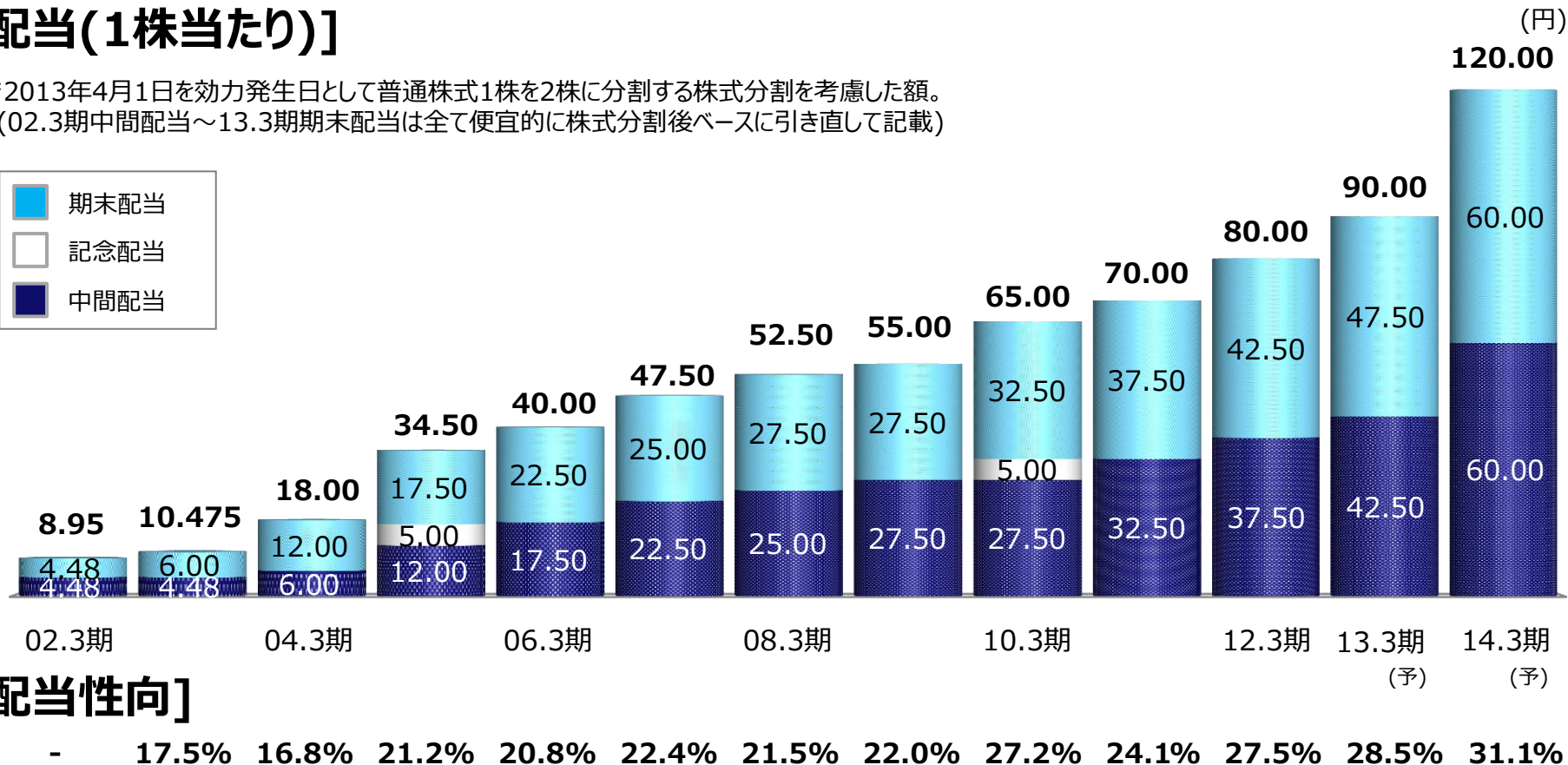
注1)2013年4月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割する株式分割を考慮した額

注2)株価は、権利付取引最終日(2013年3月26日)終値 7,630円を基準に2分割し3,815円として算出

配当(1株当たり)と配当性向

[配当(1株当たり)]

*2013年4月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割する株式分割を考慮した額。
(02.3期中間配当～13.3期期末配当は全て便宜的に株式分割後ベースに引き直して記載)



[配当性向]

まとめ

13.3期実績

- 連結営業利益
5,127億円
- au通信ARPU
月次ベースで底打ち

14.3期予想

- J:COMフル連結
- 連結営業利益
+23%成長
- 配当1.33倍

16.3期に向けた目標

- 連結営業利益
毎期2ケタ成長
- 配当性向
30%超

“持続的な利益成長と株主還元強化を両立”

補足資料

14.3期の連結業績予想

(単位:億円)

	13.3期	J:COM連結前		J:COM 連結影響	J:COM連結後	
		14.3期(予)	前期比		14.3期(予)	前期比
営業収益	36,623	37,800	+3.2%	3,600	41,400	+13.0%
営業利益	5,127	5,700	+11.2%	600	6,300	+22.9%
マージン	14.0%	15.1%	-	16.7%	15.2%	-
経常利益	5,144	5,600	+8.9%	600	6,200	+20.5%
当期純利益	2,415	3,270	+35.4%	-320	2,950	+22.2%
EBITDA	9,596	10,150	+5.8%	1,450	11,600	+20.9%
マージン	26.2%	26.9%	-	40.3%	28.0%	-
FCF	509	1,800	-	900	2,700	-

連結営業利益 増益要因

(億円)

項目(a): <パ-ソナルゲ-メント> Eバ-ル通信料収入

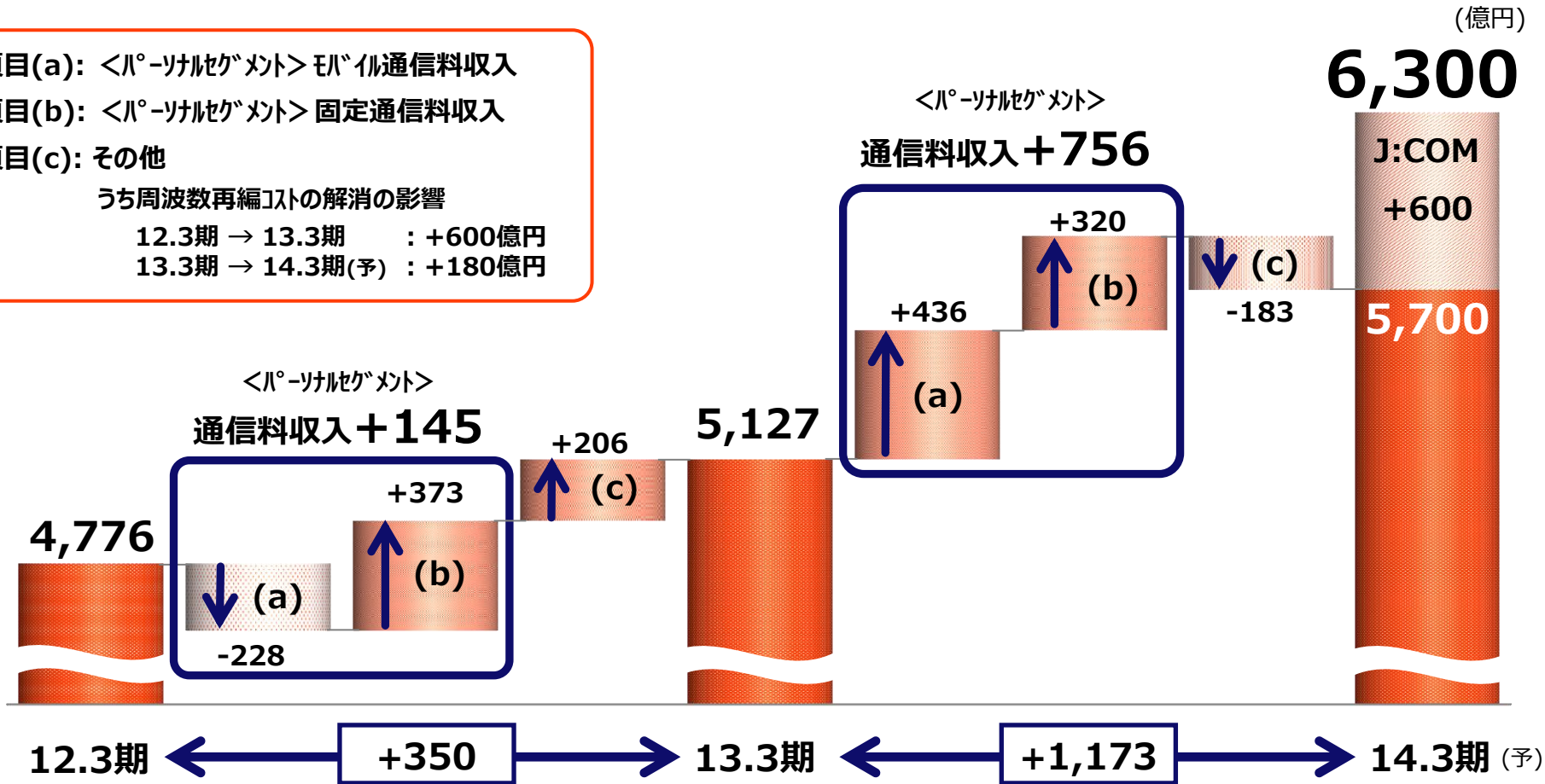
項目(b): <パ-ソナルゲ-メント> 固定通信料収入

項目(c): その他

うち周波数再編コストの解消の影響

12.3期 → 13.3期 : +600億円

13.3期 → 14.3期(予) : +180億円



14.3期KPI予想-1

連結

		13.3期	14.3期(予)	増減	増減率
au契約数	万	3,771	4,001	+230	+6.1%

パーソナル

		13.3期	14.3期(予)	増減	増減率
au契約数	万	3,219	3,369	+150	+4.7%
au解約率	%	0.63	0.69	+0.06	-
au通信ARPU	円	4,180	4,060	-120	-2.9%
au端末販売台数	万	1,108	1,090	-18	-1.6%
うちスマートフォン	万	811	860	+49	+6.0%
au販売手数料	円	25,000	27,000	+2,000	-
au端末出荷台数	万	1,066	1,068	+2	+0.2%

14.3期KPI予想-2

パーソナル

		13.3期	14.3期(予)	増減	増減率
【auスマートバリュー適用】 au契約数	万	386	690	+304	+78.8%
【auスマートバリュー適用】 世帯数	万	212	345	+133	+62.7%
FTTH契約数	万	282	326	+44	+15.5%

バリュー

		13.3期	14.3期(予)	増減	増減率
auスマートパス会員数	万	574	1,000	+426	+74.2%
付加価値ARPU	円	250	290	+40	+16.0%

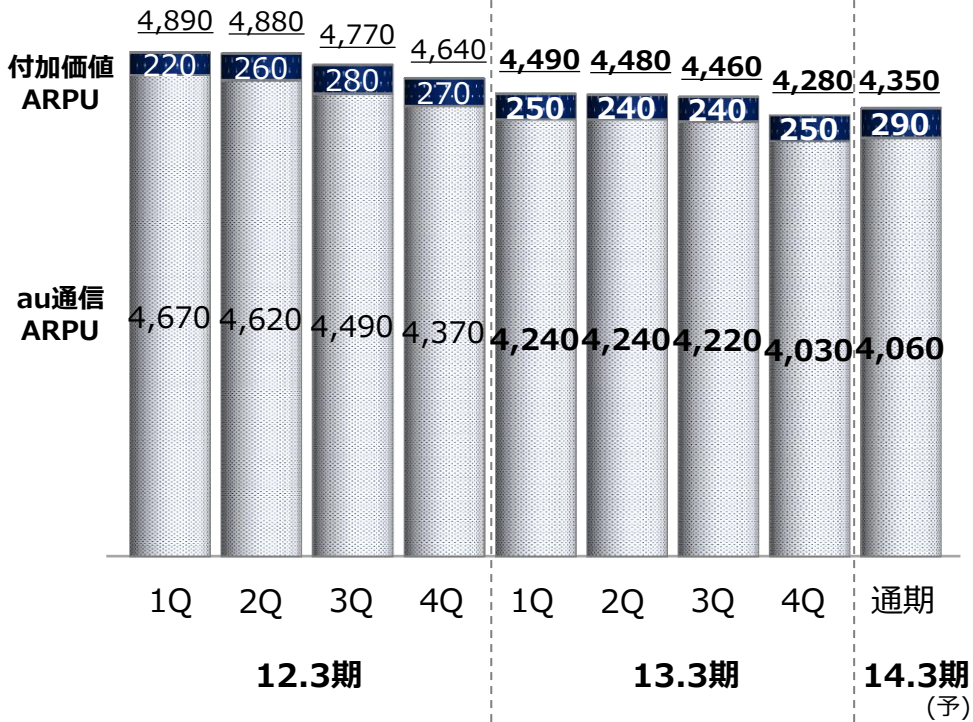
共通

		13.3期	14.3期(予)	増減
データフォワード率	%	52	注 54	+2

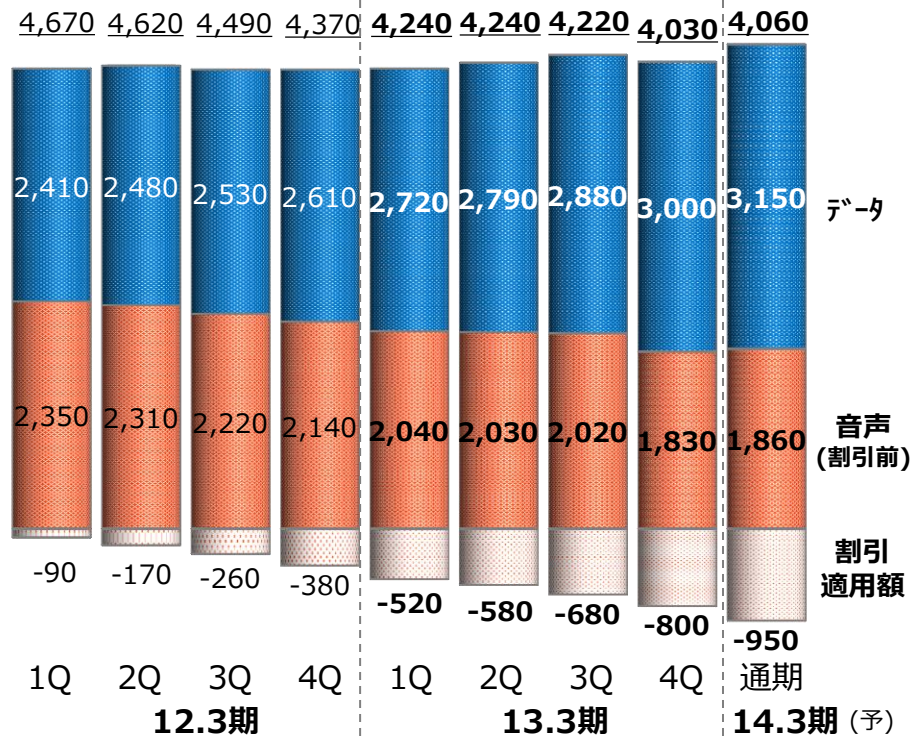
注)14.3期からLTE対応端末のデータトラフィックを含むベースに変更

au通信ARPU/付加価値ARPU

au通信ARPU/付加価値ARPU (円)



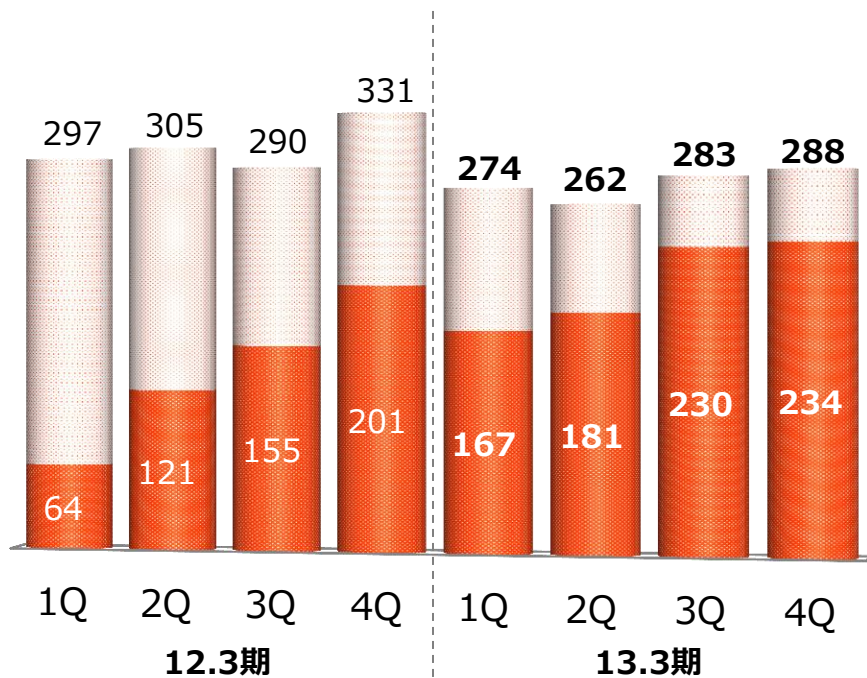
au通信ARPUの内訳 (円)



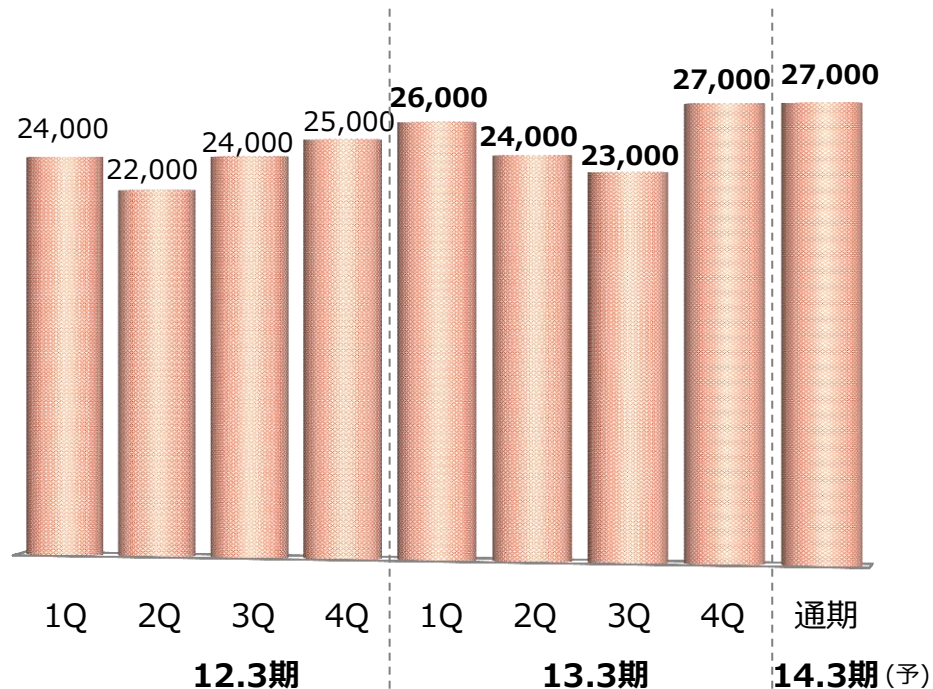
au端末販売台数/au販売手数料

au端末販売台数 (万台)

うちスマートフォン

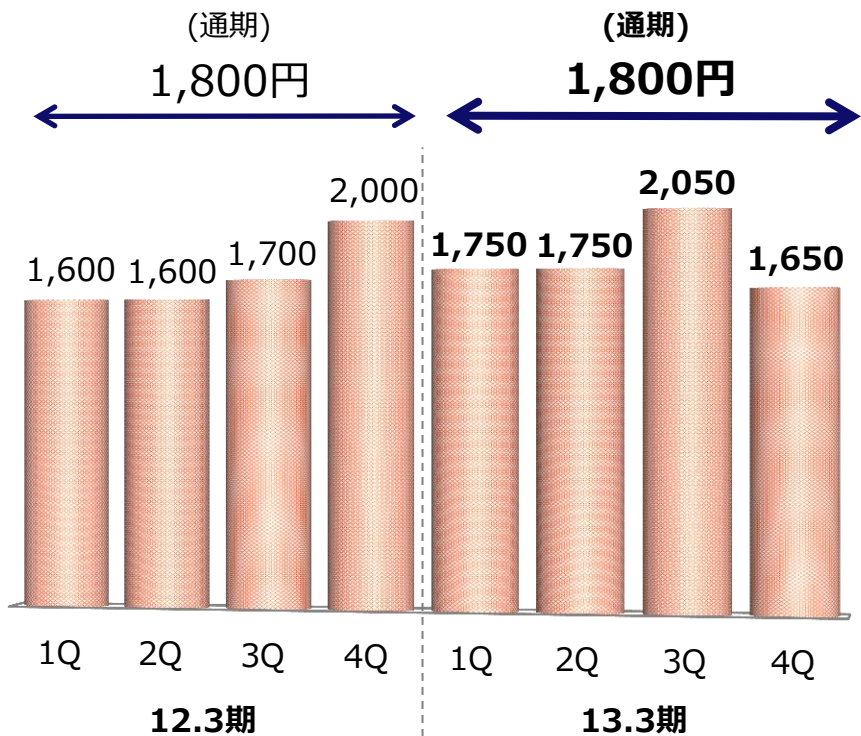


au販売手数料平均単価 (円)

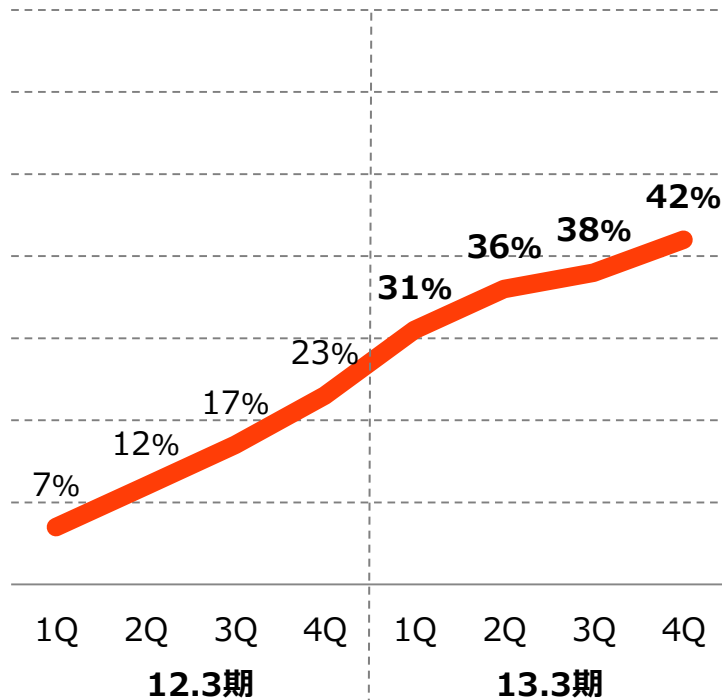


毎月割設定単価

毎月割設定単価 (円)



毎月割契約率



Designing The Future

KDDI